

1 日時：令和3年9月25日(土) 14:00～16:20

2 場所：ZOOMによるリモート会議

3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)綿貫啓、(常)庄司大介、(常)平野滋、(常)永井和典、(常)桜井裕一、(常)今村均、
(常)久一博世 太田芳雄、吉田倫夫、(常)齋藤寛(記録) (常任幹事10名中9名出席、幹事2名出席)
委任：なし、ゲスト出席：渡辺正

4 打ち合わせ内容

① 名簿公開準備、会員名簿の管理などについて

- ・公開用名簿(公開に賛同した74名分)を作成中。会員名簿(原簿)は本人の更新手続きがあった場合に修正する。
- ・公開用名簿は、近況活動報告(リモート講義、講演等)のメール文に取扱注意の旨を添えて配信。
- ・教職員名簿は本会に参加していただける先生に、必要な説明を行い作成を進める。

② 学生へのリモート講義等準備状況について

- ・湘南キャンパス土木工学科は12月22日(第1日目)、1月12日(第2日目)のそれぞれ5限目に開催。建築学科は日程調整中。
- ・清水キャンパス海洋学部は、11月の就職ガイダンスでの講演を就職課と調整中。
- ・札幌キャンパス生物学部は、11月5日17:00～19:50に講演会として開催(技術士の必要性、海洋環境関連業務について講演予定)。担当役員と札幌在住の会員による対応を計画。
- ・本会の取組を東海大学新聞に扱ってもらうために、必要な情報をまとめて大学窓口担当に提供する。湘南キャンパスの開催情報は、昨年の開催報告を活用する。

③ リモート講演会準備について

- ・開催時期は来年2月の何れかの土曜日15:00～20:00の間で計画。完全リモート方式、参加費無料、人数制限なし、講師1名で質疑応答含め1時間半程度で開催。次年度以降はリモート・リアルで検討(コトの状況による)。
- ・講師は打診中。当面の間は講師を会員または本学の先生にお願いします。総会の講演、見学会含め年間複数回の開催を目指す。CPD参加票は本会様式で発行。年度のレビュー、参加状況のまとめを行う。

④ 委員会の活動計画について(当面の課題等)

- ・「総会・役員会運営委員会」：人事管理が課題。役員の任期について確認し、会の運営に支障のないよう計画的な任期管理(満了交代：副会長・事務局長・会計と常任幹事の関係等)の検討が必要。担当を決めて対応する。
- ・「大学イベント運営委員会」：3キャンパスの講義準備、ポスター作成等への対応。
- ・「会員イベント運営委員会」：本年度講演準備、講師リスト化、技術士試験受験指導への対応。
- ・「HP管理委員会」：HP管理の人材確保。掲載情報の拡充(会員の業務紹介など)が課題。
- ・「会報編集委員会」：リーダー交代、次回の会報構成、一般会員の支援体制構築が課題。
- ・「会計委員会」：通常会計管理、寄付の管理、経費支払規定の策定が課題。
- ・「名簿管理委員会」：会員名簿(原簿)管理、大学窓口のメーリングリストとの整合、公開用名簿、教職員名簿への対応。
- ・「情報収集委員会」：CPD義務化・「技術士補」名称廃止・技術士制度改革の動向、受験指導とコンプライアンスへの対応。

⑤ その他

- ・経費支払規定の検討は、規定の策定ではなく「会計管理(収入と支出の取り決め)」として役員会内規を定め当面の運用を考える提案があった。収入事項(①繰越金、②総会等の会費収入、③寄付金・事業活動の収入、④その他)、支出事項(予算承認または役員会で承認された事項)と運用方法を定める(担当による検討)。
- ・3キャンパスのリモート講義等の経費は議論されていない。次回役員会に向けて支出の想定を各担当より提示。
- ・総会開催報告のHP掲載。
- ・日本技術士会の技術士試験受験指導に対する考え方に関連して、本会としての対応をコンプライアンスをわきまえて整理認識する必要がある。日本技術士会の幹事などの立場、個人的指導の在り方など検討が必要。「情報収集委員会」で情報収集し、検討体制を整備する。

5 次回役員会 令和3年10月23日(土)14:00～ Zoomによるリモート開催とする。